

平成22年度

## 校内研究

・教科 算数

・研究主題

**進んで取り組み、互いに高めあう子（仮）**  
～知る 考える 身につける～

### 参考

<小中一貫>

20・21年度：

<市民科>

19年度：進んでかかわり、心を通じ合わせられる子  
～かかわり合う 支え合う 高め合う～

18年度：学んだことから新しい生活を創りだしていく子  
～「市民科」自治的活動領域を通して～

17年度：学んだことから新しい生活を創りだしていく子  
～小中一貫教育「市民科」をさぐる～

<国語科>

16年度：知る 楽しむ 味わう  
～文学的教材の「読み」を通して～

15年度：学んだことから新しい生活を創りだしていく子  
～国語「読み」を通して“知る” “楽しむ” “味わう”～

・研究組織

低・中・高分科会

・年間計画

校内研究

小中合同

4月	14日（水）	研究主題決定	4月	28日（水）
5月	26日（水）	分科会	5月	19日（水）
6月	9日（水）	4年	6月	9日（水）
	16日（水）	分科会		16日（水）
7月	12日（月）	分科会	7月	12日（月）
	14日（水）	6年		14日（水）
9月	15日（水）	分科会	9月	15日（水）
	29日（水）	5年		29日（水）
10月	13日（水）	2年	10月	13日（水）
	20日（水）	分科会		20日（水）
11月	17日（水）	分科会	11月	17日（水）
12月	8日（水）	1年	12月	8日（水）
1月	19日（水）	3年	1月	19日（水）
2月	9日（水）	まとめ	2月	9日（水）
3月	9日（水）	新年度に向けて	3月	9日（水）

## 高学年分科会 提案

### 研究主題

進んで取り組み、互いに高めあう子

～知る 考える 身につける～

算数科では、「表現する力」の育成が求められている。

高学年分科会では、「見通しをもち、筋道を立てて考え、表現する能力」を育てていかななくてはならないと考え、各単元での指導を積み重ねている。

本単元においては、「分数÷分数は、なぜ除数の分母と分母を反対にしてかけ算をすれば答えを求めることができるのか」という課題のもと、言葉や式、図などを適切に用いて問題解決を図り、自分の考えをわかりやすく説明する力を伸ばす指導を考えた。

教科書には、数直線の図(面積図)と式を変形させて課題を解決する2通りの方法が示されている。本時では、「分数÷分数」のイメージを作りやすい数直線の図(面積図)の考え方を取り上げ、学級の児童全員が同じ場面での思考を展開できるようにした。

「なぜ」を考える授業をしたい。《考える》

1. 問題の意味をイメージし、問題を把握させ、何を考えるのかを明らかにする。  
問題を絵や図にして視覚的に提示。
2. 児童の考える時間を十分に確保する。試行錯誤の時間を大切にしたい。  
カラーカード「自分で考えています」「ヒントをください」
3. ヒントカードを活用する。  
児童の問題解決の進度に合わせたヒントカード

児童の多岐にわたる意見を最後に的確にまとめたい。《知る》

視聴覚機器の利用

$2/5 \text{ m}^2$ を3つに分けて4倍すると1?でぬれる面積になる場面をパワーポイントで視覚的に説明し、分数の計算方法を確認する。

学んだことを全員に定着させたい。《身につける》

家庭学習の習慣化と日々の授業内容をその日のうちに復習できるプリント作り。

家庭で復習することで「学習のふりかえり」をさせ、全員の定着を目指す。